

一般社団法人 日本生態学会

2018 年度第 4 回通常理事会

1. 日時：2019 年 2 月 16 日（土）13:00～17:00
2. 場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス会議室 B
3. 出席者：
 - ・理事会構成員（20 名・定足数 10 名以上）
（理事）占部城太郎、湯本貴和、陀安一郎、木庭啓介、北村俊平、久米篤、吉田丈人、大澤剛士、佐竹暁子（Web 参加）、鈴木まほろ、陶山佳久、中野伸一、丑丸敦史、西廣淳、宮下直、可知直毅（全理事中 16 名参加）
（欠席理事）中川弥智子、巖佐庸、内海俊介、東樹宏和
 - ・監事：岡部貴美子、粕谷英一
 - ・オブザーバー：伊東明、小池丈人、永松大、黒川紘子、仲岡雅裕（Web 参加）、土居秀幸（Web 参加）
 - ・事務局：鈴木晶子
4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 16 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い占部城太郎会長を議長として議事を進めた。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、占部城太郎会長、岡部貴美子監事、粕谷英一監事とし、議事録作成者は陀安一郎理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・ 資料 1 に基づいて理事会より推薦された功労賞候補者 2 名が代議員会に承認された（1 月 4 日）こと、2018 年度会計監査が行われた（2 月 8 日）ことなど、陀安専務理事より庶務報告 2 件、会計報告 8 件の報告があった。
 - ・ 会員数については 2018 年で一般会員 3 人減、学生 30 人増であったことが報告された。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・ 資料 2 に基づいて仲岡編集長より共著者不正操作問題について著者の所属機関に説明要請中であるとの報告があった。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
 - ・ 資料 3 に基づいて伊東編集長より編集状況・投稿審査状況、刊行状況の報告があった。
 - ・ 著者より投稿中の論文を自分のウェブサイトに出してよいかの打診があり査読中を明示することで許可した。査読中論文のプレプリントが一般的になっており、今後もそのようなことが増える見込みがあるとの報告があった。

4. 保全生態学研究編集委員会報告

- ・ 小池編集長より J-Stage の論文登載が負担になっているためよいツールがないか検討中であることが報告された。

5. 大会準備状況報告

- ・ 資料 4 に基づいて丑丸実行委員長より当初の予算より会場の設営費が大きくなっているため設備費・人件費などできるだけ抑える努力をしていることが報告された。
- ・ 大会企画委員会作成の大会期間中の非常事態時の意思決定プロセスが執行部で確認されたとの報告があった。

6. 各種委員会報告（生態系管理委員会）

- ・ 資料 5 に基づいて西廣理事より 2018 年の委員会活動報告があり、次回の委員入れ替えには公募も考えているとの報告があった。
- ・ 企業・自治体からの問い合わせ窓口として、外部とのやり取りは事務局を介してやるのが良いのではないかとの意見があった。

7. 監査報告

- ・ 資料 6 に基づいて粕谷監事より 2018 年の監査報告があり、事業計画、計算書類、付属明細書、その他理事の職務遂行の監査について適正になされていたとの報告があった。

・

8. マスタープラン 2020 への応募について

- ・ 木庭理事より 2020 の公募が始まり京大生態学研究センターが JaLTER と共同して「東アジア生物多様性ホットスポット」に関する研究提案の書類策定を進めているとの報告があった。

9. 電子情報委員会廃止後のサーバ管理外注について

- ・ 資料 7 に基づいて大澤理事よりサーバーサポートの外注予算として 30 万円で 30 チケットを検討中との報告があった。
- ・ 簡単な問い合わせについて現委員が対応することを考え、電子情報委員会廃止後も何か肩書があるのがよいのではないかとの意見があった。
- ・ メールアカウントの管理は事務局でできるように調整中。
- ・ 3 月の早い段階で運用ルールの調整を電子情報委員会で行う予定。

審議事項

第 1 号議案 大会開催地（中国四国）について

- ・ 資料 8 に基づいて陀安専務理事より説明があり、第 68 回大会を 2021 年 3 月 17 日～21 日に岡山コンベンションセンターで行うことが全会一致で承認された。

第2号議案 大会開催地区会（九州）について

- ・ 資料8に基づいて陀安専務理事より説明があり、第69回大会を2022年九州地区で開催することが全会一致で承認された。

第3号議案 2018年度決算案について

- ・ 資料9に基づいて北村会計担当理事より説明があり2018年度決算案が全会一致で承認された。

第4号議案 2019年度予算案について

- ・ 資料10に基づいて北村会計担当理事より説明があり2019年度予算案が全会一致で承認された。

第5号議案 役員選任について

- ・ 資料11に基づいて陀安専務理事より説明があり、理事会推薦の理事候補者3名および監事候補者1名が全会一致で承認された。

第6号議案 英文誌関連承認事項

- ・ 資料2に基づいて仲岡ER編集長より説明があり、ER論文賞候補6論文および委員の退任が全会一致で承認された。

第7号議案 自然保護専門委員会からの審議事項

- ・ 資料12に基づいて委員会推薦の委員候補者について可知理事より説明があり、2020年3月までの任期として全会一致で承認された。
- ・ 資料12に基づいて沖縄県辺野古・大浦湾のサンゴ礁生態系の環境保全を求める他団体への呼びかけ文の紹介のあと、要望書（案）について可知理事より説明があった。手続きに不備があり、内容についても検討が十分ではないとの意見があったことから、審議しないこととした。

第8号議案 大会のフォーラムに関する理事会申し合わせについて

- ・ 資料13に基づいて吉田大会担当理事より説明があり、審議の後、旅費の補助については生態学会旅費規則に従って支給することとして、全会一致で承認された。

第9号議案 フォーラムの外部連携について

- ・ 資料14に基づいて神戸大会で開催のフォーラム「大学にある自然史標本をどう守るか」に関する外部連携について鈴木理事より説明があり2名の旅費を生態学会の旅費基準で補助することおよび分類学会への後援協力依頼することが全会一致で承認された。
- ・ 学術会議との連携については、具体的な案件に応じて審議していくことが確認された。

第10号議案 研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望について

- ・ 資料15に基づいて可知理事より説明があり、男女参画学協会への回答について全会一致で承認された。

第11号議案 地区会活動費について

- ・ 資料16に基づいて陀安専務理事より説明があり、全地区会です承されたことから、2020年から地区会への還元金を会費の6%とし、半分を比例配分、半分を会員数比で配分することが全会一致で承認された。

第12号議案 低収入の国に在住する会員に対する優遇措置について

- ・ 資料17に基づいて北村会計担当理事より説明があり、OECDが定める最新のODA受け取りリストに該当の国と地域在住の会員より申請があれば年会費について適用することが全会一致で承認され、一般社団法人日本生態学会入会及び会費規則の改訂を総会に提案することになった。また、国際文献社とのシステム構築に関する調整を行なった上で、規則改定に伴う文面の微修正に関しては執行部に一任することが全会一致で承認された。

第13号議案 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定

- ・ 資料18に基づいて陀安専務理事より説明があり、2019年3月18日(月) 9:30-10:30に神戸国際会議場メインホールにて総会を実施すること、資料18の議事に「一般社団法人日本生態学会入会及び会費規則の改訂に関する件」を加えることが全会一致で承認された。

その他

1. シニア会員制度について

- ・ 資料19に基づいて北村会計担当理事より説明があり制定に肯定的な意見が多かったため続けて検討することになった。

2. 学会誌のオープンアクセスについて議論した

閉会：以上の議事を終え、17時に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2019年2月16日

会 長 : 占部 城太郎 ㊟

監 事 : 岡部貴美子 ㊟

粕谷 英一 ㊟